2027年3月期　第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上場会社名	株式会社メディックス	上場取引所	東
コード番号	331A	URL	https://www.medix-inc.co.jp/
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	馬場　昭彦
問合せ先責任者	(役職名) コーポレートスタッフ長	(氏名)	高中　一彰　(TEL) 03(5280)9471
半期報告書提出予定日	2026年11月10日	配当支払開始予定日	2026年12月7日

決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

1.2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2026年4月1日～2026年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	2,347	―	159	―	152	―	92	―
2026年3月期中間期	―	―	―	―	―	―	―	―

(注) 包括利益　2027年3月期中間期　95百万円(　―%)　2026年3月期中間期　―百万円(　―%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	12.35	12.18
2026年3月期中間期	―	―

(注)2026年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年3月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2027年3月期中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	7,210	3,348	44.9
2026年3月期	7,732	3,563	44.4

(参考) 自己資本　2027年3月期中間期　3,234百万円　2026年3月期　3,436百万円

2.配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	―	0.00	―	18.00	18.00
2027年3月期	―	8.00			
2027年3月期(予想)			―	11.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3.2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,975	16.9	707	7.3	674	2.0	434	△0.5	58.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1)当中間期における連結範囲の重要な変更　：　無

(2)中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

(4)発行済株式数(普通株式)

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期中間期	8,080,000株	2026年3月期	8,080,000株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	757,200株	2026年3月期	412,500株
③　期中平均株式数(中間期)	2027年3月期中間期	7,465,480株	2026年3月期中間期	7,991,749株

※　第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 ……2
(1)当中間期の経営成績の概況 ……2
(2)当中間期の財政状態の概況 ……2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 ……4
(1)中間連結貸借対照表 ……4
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……5
(3)中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……7
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項 ……8
(継続企業の前提に関する注記)……8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)……8
(セグメント情報等)……8
(重要な後発事象)……8

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間との比較分析は行っておりません。

(1)当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、円安の進行や物価上昇に加え、世界情勢の不確実性などを背景に、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、各産業においてデジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みは引き続き拡大しており、企業活動のあらゆる領域でデジタル活用が進展しております。当社グループが属するデジタルマーケティング業界においても、マーケティングDXの進展を背景に、インターネットを活用した販売促進やマーケティング活動へのニーズは一層高まっております。とりわけ、生成AIや広告・マーケティングプラットフォームが提供するAIサービスの活用、並びに企業が保有する膨大なデータを基盤とした高度なマーケティング手法の重要性が増しており、これらを個別に活用するだけでなく、横断的に組み合わせることで顧客の成果創出につなげることが求められております。

こうした事業環境のもと、当社グループは成長戦略「Beyond広告」のコンセプトに基づき、顧客のマーケティング課題に対し、デジタル広告の販売、データマネジメントサービス、Webサイト制作、インサイドセールスによる営業支援、並びに台湾・アジア市場への進出支援といった各種マーケティングサービスを提供してまいりました。特にBtoB領域を注力分野として位置づけ、顧客企業の事業成長に貢献する取り組みを継続しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高2,347,945千円、営業利益159,021千円、経常利益152,718千円、親会社株主に帰属する中間純利益92,199千円となりました。

なお、当社グループは、デジタルマーケティング支援事業を主要な事業としており、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。

(2)当中間期の財政状態の概況

① 財政状態の分析

(資産)

当中間連結会計期間末における資産の残高は、7,210,507千円となりました。前連結会計年度末に比べ521,726千円減少いたしました。これは主に、売掛金が595,283千円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債の残高は、3,861,925千円となりました。前連結会計年度末に比べ306,851千円減少いたしました。これは主に、未払金が365,364千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、3,348,582千円となりました。前連結会計年度末に比べ214,874千円減少いたしました。これは主に、自己株式が161,919千円増加し、利益剰余金が45,815千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、4,062,163千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の増加は417,032千円となりました。これは主に、未払金の減少額362,428千円、法人税等の支払額96,682千円による資金の減少に対し、売上債権の減少額593,233千円、税金等調整前中間純利益の計上152,718千円による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は12,041千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出12,436千円による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の減少は401,798千円となりました。これは主に、自己株式の取得による支出165,179千円、配当金の支払額137,615千円、長期借入金の返済による支出99,670千円による資金の減少があったことによるものであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当中間連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,064,327	4,062,163
売掛金	2,548,339	1,953,056
その他	133,932	212,602
貸倒引当金	△62	△11
流動資産合計	6,746,537	6,227,810
固定資産		
有形固定資産	122,070	115,973
無形固定資産		
のれん	306,562	280,515
その他	26,552	21,231
無形固定資産合計	333,114	301,747
投資その他の資産		
その他	530,962	565,404
貸倒引当金	△451	△427
投資その他の資産合計	530,511	564,977
固定資産合計	985,696	982,697
資産合計	7,732,233	7,210,507
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	183,340	167,340
未払金	2,387,917	2,022,552
未払法人税等	84,809	100,822
賞与引当金	150,576	171,458
その他	270,450	365,641
流動負債合計	3,077,093	2,827,815
固定負債		
長期借入金	633,633	549,963
退職給付に係る負債	387,251	403,835
役員退職慰労引当金	65,025	75,936
その他	5,774	4,375
固定負債合計	1,091,683	1,034,110
負債合計	4,168,777	3,861,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	259,800	259,800
資本剰余金	230,257	229,268
利益剰余金	3,086,975	3,041,160
自己株式	△204,929	△366,848
株主資本合計	3,372,103	3,163,380
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,840	24,551
為替換算調整勘定	△3,113	△11,460
退職給付に係る調整累計額	62,701	57,891
その他の包括利益累計額合計	64,428	70,981
非支配株主持分	126,925	114,220
純資産合計	3,563,456	3,348,582
負債純資産合計	7,732,233	7,210,507

(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自　2026年4月 1日 至　2026年9月30日)
売上高	2,347,945
売上原価	401,328
売上総利益	1,946,617
販売費及び一般管理費	1,787,595
営業利益	159,021
営業外収益	
受取利息	6,525
受取配当金	3,790
受取保険金	8,491
その他	2,731
営業外収益合計	21,538
営業外費用	
支払利息	6,723
為替差損	10,080
支払手数料	8,801
その他	2,235
営業外費用合計	27,841
経常利益	152,718
税金等調整前中間純利益	152,718
法人税、住民税及び事業税	87,956
法人税等調整額	△16,135
法人税等合計	71,820
中間純利益	80,898
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△11,301
親会社株主に帰属する中間純利益	92,199

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自　2026年4月 1日 至　2026年9月30日)
中間純利益	80,898
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	19,710
為替換算調整勘定	△9,749
退職給付に係る調整額	4,810
その他の包括利益合計	14,771
中間包括利益	95,670
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	108,139
非支配株主に係る中間包括利益	△12,469

(3)中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自　2026年4月 1日 至　2026年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	152,718
減価償却費	23,584
のれん償却額	22,615
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△68
受取利息及び受取配当金	△10,315
支払利息	6,723
支払手数料	256
為替差損益(△は益)	613
売上債権の増減額(△は増加)	593,233
前払費用の増減額(△は増加)	△72,200
長期前払費用の増減額(△は増加)	2,037
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,118
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,911
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,558
未払金の増減額(△は減少)	△362,428
未払費用の増減額(△は減少)	18,620
契約負債の増減額(△は減少)	23,223
その他	61,997
小計	502,200
利息及び配当金の受取額	10,315
利息の支払額	△6,723
法人税等の支払額	△96,682
法人税等の還付額	7,922
営業活動によるキャッシュ・フロー	417,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△12,436
敷金及び保証金の回収による収入	394
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,041
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△99,670
リース債務の返済による支出	△1,348
自己株式の取得による支出	△165,179
自己株式の処分による収入	2,015
配当金の支払額	△137,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	△401,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,357
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,164
現金及び現金同等物の期首残高	4,064,327
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,062,163

(4)中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

2026年6月15日開催の取締役会決議に基づき、2026年6月16日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式350,900株の取得を行い、自己株式が164,923千円増加しております。

(自己株式の処分)

2026年1月19日開催の取締役会決議に基づき、第2回新株予約権の行使に伴う自己株式6,200株の処分を行い、資本剰余金が988千円、自己株式が3,003千円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末において、資本剰余金は229,268千円、自己株式は366,848千円(757,200株)となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「デジタルマーケティング支援事業」及び「その他の事業」であります。ただし、「その他の事業」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。